

福島県

1. 商品名等

商品名	郡商太鼓焼き	
商品写真(イメージ等)	商品説明(コンセプト等)	
 	<p>地元郡山市内のいちご園からいちごを仕入れ、いちごをあまりつぶさないでジャムにして、白餡と合わせた饅頭を作りました。いちご大福にあるようにいちごと餡の相性は抜群で、いちごの風味豊かな商品ができました。なめらかな餡でいちごの味と香りが楽しめます。郡山市のうねめ祭りの太鼓をイメージしたパッケージに包み、地域に親しまれる商品にしました。福島の食の安全を全国に発信を目的に販売しています。</p> <p>平成30年7月より県内外で販売。</p>	

2. 学校紹介

学校名	福島県立郡山商業高等学校	電話	024-922-0724
住所	福島県郡山市菜根五丁目6番7号	FAX	024-922-5059
担当者	鈴木政直	大竹伸二	
URL	http://www.koriyama-ch.fcs.ed.jp		
E-mail	school@koriyama-ch.fcs.ed.jp		
<p>本校では、校訓である「自治・勤労・感謝」の精神のもと、約二万二千余名の卒業生を世に送り出し、地元経済界はもとより、政財界・教育界など全国各地で活躍する多くの有益な人材を輩出してきました。現在も商業に関する高い知識と技術を身に付け、豊かな心とたくましい力を持って激動する経済社会に貢献できる人材の育成に努める教育方針のもと、「流通経済科」「会計科」「情報処理科」の3学科の特色を生かし、生徒一人一人を大切にする教育を基本姿勢としている。商品開発については、高校生の柔軟な発想で出たアイデアを活用して地域活性化に役立つ喜びを知り、特に流通・サービス等のビジネスに関する知識・技術習得に取り組んでいる流通経済科の生徒を中心に「商業研究部（調査研究班）や「課題研究（調査研究・商品開発・販売実習）」、「商品開発（流通経済科3年選択）」の授業で取り組んでいる。</p>			

3. 実施科目等

科目名	商業研究部（調査研究班）	単位数	
対象生徒	2年生（6名）・1年生（5名）	担当教員数	2名

4. 予算関係(費用)

「子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業」補助による。

5. 開発経緯等

商業研究部（調査研究班）では、「福島県の風評被害の払拭と食の安全」を目的に過去3年間商品開発をしてきました。しかし、福島食材を利用することが最優先で、売れる商品の開発と販売活動をすることで、本当の意味で目的の達成になるのではないかという考えを持ち今年度のテーマとしました。

そこで、商品開発の授業と外部講師の地域の皆様からの講義やアドバイスの学びを生かした商品開発をしようと考えました。

全校生徒に好きな果物でアンケートを取るといちごが1位で、全国人気もいちごが1位で、顧客満足度の追及を考えた上で福島県の食材を使った商品開発を考えました。

相性を考え、いちご大福にあるように、いちごと餡の相性は抜群で、和菓さんに依頼して試行錯誤の上、味にもこだわって開発しました。また、パッケージデザインにこだわり、地域に根差した商品として、地元うねめ祭りの太鼓をイメージしたシートに包み、商品が完成しました。

6. 販売形態・期間

①
・
無

地域商店街や県内外イベント等でも販売実績があり、今後も生徒による販売を継続。
平成30年7月～

7. 協力者等

①
・
無

和菓子処 ヤナギ屋

8. 商標登録の有無

有
・
無

9. 今後の課題・展望等

賞味期限もあり、地域の和菓子に依頼すれば、常時つくっていただける商品で、賞味期限は1週間あり、気温の変化や保存方法に気遣いなく安心して長期間販売することができるので、いかに発売し続けていくことができるかが課題である。地域の期待は高く、出店無料で県内外のイベントで販売する機会があり、生徒の販売等のスキルアップと共に生かしていきたい。